

郡山市まちづくり基本指針後期見直し  
郡山市総合計画審議会からの答申を受けます



ターゲット 17.17

令和4年3月14日

郡山市政策開発部

政策開発課

課長 佐久間 守隆

TEL：924-2021

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

本市では、市長の諮問機関である標記審議会において、総合的かつ計画的な市政運営を図るため、「郡山市まちづくり基本指針」の公共計画後期4年間の見直しについて審議を行ってきました。この度、下記のとおり審議会から答申を受けますのでお知らせいたします。

- 1 日 時 令和4年3月16日（水）午後2時30分から午後3時
- 2 会 場 郡山市役所本庁舎2階 庁議室
- 3 答 申 者 郡山市総合計画審議会  
 会 長(第5分科会代表) 堀井 雅史 (学校法人日本大学 名誉教授)  
 副会長(第3分科会代表) 齋藤 美保子 (学校法人郡山開成学園郡山女子大学  
 短期大学部 副学長)  
 第1分科会代表 壹岐 典彦 (国立研究開発法人産業技術総合研究所  
 福島再生可能エネルギー研究所 所長代理)  
 第2分科会代表 菅野 豊 (一般社団法人郡山市観光協会 会長)  
 第4分科会代表 廣瀬 公治 (学校法人晴川学舎奥羽大学 教授)
- 4 答申受取者 郡山市長 品川 万里
- 5 そ の 他 当審議会委員は別添名簿のとおり

<郡山市まちづくり基本指針>

「郡山市まちづくり基本指針（あすまちこおりやま）」は、市民の「想い」や「願い」に基づき郡山市における市政運営の最上位指針として2018年よりスタートしました。市民がともに目指す将来都市構想の「公共計画（8年計画）」と、その実現に向けて行政が取り組む施策のロードマップを示す「行政計画（4年計画で毎年一部見直し）」の2階層で構成されます。

No	大綱	役 職	氏 名	所 属 団 体 等
1	I 産業・仕事の未来		あらき ひでゆき 荒木 英幸	株式会社福島民報社郡山本社 常務取締役郡山本社代表
2		分科会会長	い き のりひこ 壹岐 典彦	国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所所長代理
3			いとう きよのり 伊藤 清郷	郡山商工会議所 副会頭
4			かんの けいじ 菅野 啓二	福島さくら農業協同組合 代表理事組合長
5			まくま とおる 佐久間 通	連合福島郡山地区連合 事務局長
6			ななうみ しげき 七海 重貴	株式会社東邦銀行 常務取締役郡山営業部長
7	II 交流・観光の未来	分科会会長	かんの ゆたか 菅野 豊	一般社団法人郡山市観光協会 会長
8			ごとう きひろ 後藤 吉宏	福島民友新聞株式会社郡山総支社 郡山総支社長
9			さとう たかし 佐藤 孝	東日本旅客鉄道株式会社郡山駅 郡山駅長
10			つちや かりん 土屋 香凛	大学生（学校法人郡山開成学園郡山女子大学）
11			わたなべ まみやす 渡邊 公靖	郡山信用金庫 常勤理事
12	III 学び育む子どもたち の未来		あべ みつひろ 阿部 光浩	郡山市私立幼稚園認定こども園連合会 会長
13			おおさき ことみ 大崎 琴美	大学生（学校法人晴川学舎奥羽大学）
14			おおひら いずみ 大平 泉	郡山市PTA連合会 副会長
15		副会長 分科会会長	さいとう みほこ 齋藤 美保子	学校法人郡山開成学園郡山女子大学短期大学部 副学長
16			はしもと ゆかり 橋本 ゆかり	福島県公立小・中学校女性管理職の会
17			まつかわ おさみ 松川 修三	株式会社福島中央テレビ 執行役員報道局長
18	IV 誰もが地域で輝く 未来		すまき よしお 須佐 喜夫	福島県商工信用組合 理事長
19			たくるす くみ タクルス 久美	公募委員
20			つちや しげゆき 土屋 繁之	一般社団法人郡山医師会 会長
21			はやさき やすお 早崎 保夫	郡山市中学校長会 会計
22		分科会会長	ひろせ きみはる 廣瀬 公治	学校法人晴川学舎奥羽大学 教授
23			ふるかわ つたえ 吉川 伝	株式会社福島放送 常務取締役報道制作局長
24	V 暮らしやすいまちの 未来		いいじま せいいち 飯島 成一	郡山地区商工会広域協議会 副会長
25			えびさわ こうみ 蛭澤 康海	大学生（学校法人日本大学工学部）
26			すずき たかお 鈴木 孝雄	株式会社大東銀行 取締役社長
27			すずき みつじ 鈴木 光二	郡山市自治会連合会 会長
28			たいら かずひこ 平 一彦	株式会社エフエム福島 代表取締役社長
29		会長 分科会会長	ほりい まさふみ 堀井 雅史	学校法人日本大学 名誉教授